

ナガサキにできることは

## 微力ですが無力ではないと痛感の日々

11月2日、全国労働者集会在開催され、その後、全国医療従事者交流会に参加しました。労働者集会で、福島診療所建設委員会呼びかけ人の佐藤幸子さんが「福島県はフクシマの子どもたちを守りません。子どもたちを守るのはふくしま共同診療所の命をかけた先生たちだけです」と訴えました。その先生方とお会いし、胸がいっぱいになりました。

幼い子どもたちが、甲状腺がんの恐怖におびえながら暮らさなければならないこと、すでに発がんし、転移し、手術までしなければならない子どもたちのことを思うと、保養が少しでもお役に立てればと切実に思いました。

2回目を迎えた今年も短い期間でしたが、長崎で保養を行いました。葉っぱや小川に手をいれなかった子どもたちが、カニやカエルと遊び、波しぶきに嬉々としてたわむれる姿に「本来の子どもに戻れた!」と報告させていただきました。

心配なのは、ふくしま共同診療所の経営のことです。「多くの応援団がふくしま共同診療所を支える」ことを全国ナゼン(すべての原発いまずぐなくそう!全国会議)で発信、努力しましょう。



長崎県大村市での保養

城 臺 美 彌 子 (すべての原発いまずぐなくそう!全国会議・長崎、被爆者)

9月7日、ふくしま共同診療所報告会が開催されました。松江名誉院長、布施院長より診療活動の報告を行い、崎山比早子先生からは「放射線による非がん性疾患」というテーマで講演をしていただきました。一部ですが講演の要旨をご紹介します。



松江 寛人 (ふくしま共同診療所名誉院長)

国や県、福島医大は「放射線は安全である」という前提から始まっています。それに対して私たちは、「放射線はゼロ以外は安全ではない」という立場で診療を行っています。

これまで約1,500人の甲状腺エコー検査を行ってきました。7割が18歳以下の子どもたちで、そのうち6割の子どもたちに何らかの異常所見が見られました。

ふくしま共同診療所は今後、被ばくによる健康障害への不安に関する相談や、甲状腺のみならずあらゆる健康面での管理、被ばくと健康障害の関係を明らかにしていくために診療を続けていきます。

## 放射線による非がん性疾患

——老化の促進に関連して——

崎山 比早子 先生 (高木学校)

今回のテーマは、放射線による老化の促進が引き起こす非がん性疾患についてです。放射線による非がん性疾患はずっと無視され続けています。IAEAやWHOは、チェルノブイリ事故では小児甲状腺がんの増加しか認めていません。しかし、ベラルーシでは成人の甲状腺がんも事故後時間が経ってから急増し、また慢性甲状腺炎や甲状腺機能低下症も増加し続けていると報告しています。

放射線被ばくによる疾患の特徴は、同時に複数の疾患にかかるということです。それは、高齢者の状態によく似ています。放射線被ばくが老化を促進すると考えることができます。個体の老化は加齢によっても起きますが細胞の老化によっても起きます。細胞の老化というのは不可逆的な細胞分裂能の喪失と定義されます。細胞の老化のメカニズムは色々知られています。放射線は、DNAに修復ができない損傷を引き起こすことによって細胞の老化を促進すると考えられます。高齢者に多い心筋梗塞や脳梗塞は高血圧や糖尿病、喫煙等が原因となりますが放射線も原因になります。それは放射線が血管内皮細胞のDNA

を損傷し老化を促進するからです。

色々な臓器の幹細胞が老化すれば、色々な病気が引き起こされると考えられます。例えば骨髄幹細胞が老化すればリンパ球やマクロファージなどの細胞が減少し免疫疾患を引き起こします。従って老化のメカニズムを研究することによって、放射線がなぜ非がん性疾患を引き起こすのか理解できるようになります。

このことは、放射線の専門家はよく知っていて、老化のメカニズムを研究しています。しかし、公には放射線が非がん性疾患を引き起こすことは無視しています。それは科学的立場からではありません。

低線量の放射線が生物に与える影響についてはわかっていることもわからないとされ、ひいてはわからないことにされがちです。それはすでに科学ではなく政治的あるいは経済的評価が入ってくるからです。放射線の影響はあくまでも科学的根拠に基づいて、人権の観点から評価することが必要だと思います。それが原発のない社会へ繋げる道だと思います。

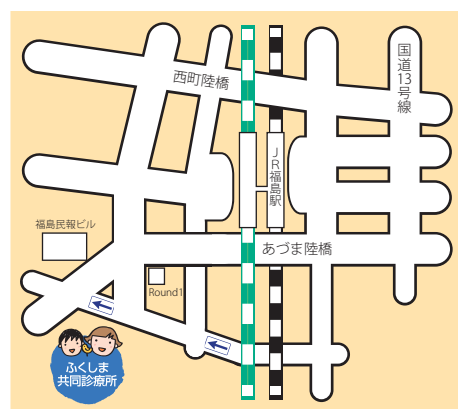
## ふくしま共同診療所

【診療科目】 内科・放射線科・循環器科・リウマチ科  
【休診日】 毎週水曜日・祝日 (月曜日の午後は休診)  
【診療時間】 9:30~12:30 / 14:30~18:00  
日曜日も診療を行っております。エコー検査は予約制です。

〒960-8068 福島市太田町20-7 佐周ビル1階  
(福島駅西口徒歩5分、福島民報ビル南側)

TEL 024-573-9335 FAX 024-573-9380

<http://www.fukushimacollaborativeclinic.jp/>



### 建設基金 目標3億円

基金は1口1万円です

募金は金額に関わりなく受け付けています

- 郵便振替口座…02200-8-126405  
加入者名/福島診療所建設基金
- 銀行口座…福島銀行 本店(110) 普通預金 1252841  
加入者名/福島診療所建設基金 代表 渡辺 馨

SunRise No.7 2014年12月15日発行

### 福島診療所建設委員会

〒960-0662 福島県伊達市保原町柱田字平84 渡辺 馨  
電話 070-5476-6162

WEB <http://www.clinic-fukushima.jp>

E-MAIL [info@clinic-fukushima.jp](mailto:info@clinic-fukushima.jp)